

協力隊報告会が開催される

3月10日（月）、「緑のふるさと協力隊」と「地域おこし支援隊」の活動報告会とお別れ会が開催されました。村での活動写真が張り出され、休憩時間にはマコモダケのお茶や手作りコンニャクが振る舞われ、約50名ほどの村民の方が一人の話に聞き入っていました。ここに二人の報告会の内容を紹介いたします。

【地域おこし協力隊】

山井 沙晶さん

◇参加のきっかけ

物が溢れ、近所との交流もない都会の生活に人間らしさを感じなくなり、農村に行き自然の中で生活し、生きる力を身につけたかった。

◇2年間の活動を終えて

草むしりからスタートして農作業の手伝い、特にコンニャクやサツマイモは重くてよいじやあなかつた。物づくり体験やコンニャク、漬け物づくり、村内のイベントや行事の手伝い、ボランティアやサークル活動にも参加する等、数えきれない程の初めての体験をさせてもらいました。

都会では感じるこのできない春夏秋冬の四季を感じることができ、一面に広がる田や山々が美しい中山盆地、ユニーケでインパクトのある「牛の糞堆」、いしづえ、ひまわり、ばたんぐループ、ねこやなぎの会や星まつり実行委員会、食生活改善推進協議会、ガイドボランティアの皆さん、村を良くしようと頑張っている人や団体がたくさんあり、すばらしいと感じた。

伝統文化を守り、地域の人が地域を守る中で子どもたちが育ち、広い自然の中で多くの人と交流しながら生きてきた皆さんのがたかさ、優しさ、心の広さ、生きる強さを感じた。そして、おもてなし精神。人に何かをしてあげよう、喜んでもらいたいという心が本当にすばらしいと感じた。見返りを求める優しさを学び、自分も人に優しくできるようになつた気がする。

農山村の生活には、素朴で懐かしい風景、あたたかい人との交流、新鮮でおいしい食べ物がある。都市とはまるで異なる環境、人間らしい生活中に新鮮さを感じ、わくわくするのではないかと思う。都市の人は、自然にそこにあるものを感じたいと望んで来るはず、村の普段の暮らしを都市の人たちに体験してもらう

ことが、村を好きになる一番のきっかけになるのではないかと思う。高山村には、他にない自然で素朴な良さがあり、その地域の良さを活かした観光づくりが大切なのではないかと思った。

【緑のふるさと協力隊】

林 由美枝さん

◇参加のきっかけ

時間に追われる生活の中で、季節の移ろいを感じながら、自分の手で物を生み出しながら、自然の中で暮らしたいと思つていた矢先、テレビで知つた協力隊に応募した。

◇1年間の活動を終えて

高山村の第一印象は、花いっぱいである色鮮やかで、山並みが美しく、特にステージグリーンからの風景には癒されました。初めての農作業やタケノコや山菜採り、山の恵みを体いっぱい感じることができました。

夏に体調を崩し広島に帰っている間も、いろんな方に励まされ、8月には活動に復帰させていただき、とてもありがたかったです。復帰後は、高齢者の食生活調査や食育教室、農作業のお手伝いも再開し、トマト、トウモロコシ、枝豆等、夏野菜のおいしさを味わうことができました。

また、協力隊の特権として、様々な地区の行事に参加させていただき、他にはない高山村の歴史・文化に触れることができました。役員さんや地区の皆さんの努力があるからこそ、伝統を受け継がれてきたのだと思います。

今後、高山村がよりすばらしい、暮らしやすい村になるために、広報や防災無線、元気メールをもつと活用し、より多くの情報と人を共有し、地区を越えて行事に参加することで、新しい人と人のつながりから、高山村のすばらしさを再認識できるのではないかと思います。役員さんや地区の皆さんの努力があるからこそ、伝統を展示することで、高山村に興味を持つてもらい再び訪れてもらうことです。

この1年間、地域の行事やたくさんのグループ活動に参加させていただきました。いろんな人が、いろんなすばらしいアイデアや考えを持っています。価値観、考え方はそれぞれ違いますが、お互いの考えに耳を傾け、しっかりと伝えあい、よりよい方法を探つていくことが大事だと学びました。他では味わうことのできないことをたくさん経験できた高山村での1年間は、私の一生の財産になることだと思います。

お礼の言葉

こんにちは！地域おこし支援隊の山井沙晶です。この度、昨年度1年間緑のふるさと協力隊として、今年度は地域おこし協力隊として2年間お世話を離れるようになりました。

高山村での生活は、毎日が新鮮で、暮らしを全力で楽しめました。村に来て初めて経験したこと、出来るようになつたこと、覚えたことが数えきれないくらいあります。

協力隊という立場に難しさを感じたこともありました。協力隊だからこそ出来たこと、させてもらえたことがたくさんありました。今振り返つてみると、自分なりに成長出来たのではないかと感じています。

村のためににはなれなかつたかもしませんが、私にとって、高山村に来たことはプラスになりました。協力隊に参加を決めて、高山村に来ることが出来たのが、私にとって、高山村に来ることはプラスでしかありません。この2年間は一生の宝物になりました。お人柄が大好きです。これでさよならではなく、皆さんとまたお会いしたいと思っています。また高山村に帰つて来た時は、どうぞよろしくお願いします。

1年間お世話になつた

農家さんとのお別れの会

3/16

平成25年度高山村表彰式、高山村生涯学習・社会福祉推進大会開催される

大雪の影響で、2月15日（土）に予定をしていた、高山村表彰式、高山村生涯学習・社会福祉推進大会を3月16日（日）に延期開催をいたしました。

午前中は村表彰式から始まり、意見・体験・活動発表、舞台発表、展示発表と、一部変更がされました。が、幼稚園児から老人クラブまで幅広い年代の方々に参加していただき、日頃の学習の成果を発表していただきました。

午後は生涯学習講演会を開催いたしました。なお表彰関係は、次の方が受賞されました。

平成25年度被表彰者名簿（敬称略）

1 功労表彰	平形 政美（前消防団員）
2 善行表彰	平形作太郎（高額寄付）
	角田 芳夫（高額寄付）
	関 亜刀美（環境美化）
	唐澤喜司良（環境美化）
3 感謝状贈呈	大木のり子（前教育委員）
	石坂 順宏（前固定資産評議会審査委員）
	都筑 秀雄（前民生委員）
	唐澤 憲祐（前民生委員）
	野上 ふさ江（前民生委員）
	栗原 未子（前民生委員）
	山田 静枝（前民生委員）
	有馬 隆市（前民生委員）

①生涯学習功労者	山田 大畑 芳明（前民生委員）
	後藤喜美子（文化協会俳句部）
	若月 眺（文化協会児童人形錦松会）
	田村 久子（文化協会書道部）
	武田ミヨ子（花いっぱい運動）

②優秀学習者・団体	山田 元子（花いっぱい運動）
	上州高山いぶき太鼓ジュニアチーム
	林 昌枝（前文化協会会長）
	中野 優河（中学生）
	小淵 織寧（小学生）

③高山村の「未来に残したい写真」コンテスト表彰	山田 小淵 織寧（小学生）
	平形作太郎（最優秀賞）
	金井恵美子（優秀賞）
	奈良哲男（優秀賞）
	藤島貴光（入選）
	中嶋輝久（入選）
	後藤三郎（入選）
	武田朝子（入選）
	林由美枝（入選）

④人権標語（最優秀賞）	平形作太郎（最優秀賞）
	田村 月音（小学生の部）
	本所 然（中学生の部）
	田村 好美（一般の部）
	（教育長賞）

⑤社会福祉協議会表彰	（入選）
	町田 良子（高額寄付）
	（入選）
	（入選）
	（入選）



3/18 新しい食生活改善推進員が誕生しました

吾妻養護老人ホームでは、平成24年度高山村食育推進事業・村内統一献立をきっかけに地産地消に力を入れています。ホームの畑で採れた野菜や村内生産者の方々の協力を経て新鮮な野菜を使い、四季折々の食事を提供させて頂いています。また、利用者全員が同じ形態で食事を摂ることが難しい為、食材を細かく刻んだり、ミキサーにかけてペースト状にして、同じ献立を食べて頂けるようにしています。

- ◎ 食べにくい食材を食べやすくする調理のポイント
- ◎ 肉・野菜類・いも類は一口の大きさに切ります。
- ◎ 噛み切りにくい肉は叩いたり、皮や脂身は取り除くか切れ目を入れます。
- ◎ 挽肉を使うのも良いです。
- ◎ 野菜などは時間をかけて加熱し歯茎でつぶせると噛み切りやすくなります。
- ◎ 野菜の皮はむき、トマトやナスの皮はむくか切り目を入れます。
- ◎ 葉野菜はやわらかい葉を使用し、根菜などは纏維を断ち切るようにして切れます。

3月18日（火）健康作りボランティア養成講座が修了し、新しい食生活改善推進員が男性3名を含む7名誕生しました。県内でも男性会員は4市で10名のみで、町村や郡内では初の会員となり、大きな期待が寄せられています。

昨年11月から40時間の研修で「メタボリックシンドローム予防」「年代別の食育」「村の保健事業や福祉について」等幅広く学習や调理実習を行いました。

今後は、高山村食生活改善推進員として村の健康づくりのために活動していただきますようお願い申上げます。



（管理栄養士 中島）

食育コーナー



高山中学校卒業式 新たな夢を抱いて羽ばたこう！

